

『歳入確保に係る基本方針（改定）』の総括（概要版）

取組み概要

- ・ **目的**： 経常収支比率 95%以下の達成、目標達成後の持続可能な財政構造の構築
- ・ **取組み期間**： 平成 24 年度～令和 2 年度
- ・ **取組み**： 「既存の歳入の確保」、「新たな歳入の創出」、「歳入の源泉の涵養」の三つの観点

既存の歳入の確保

- ① **課税・賦課の強化、徴収実績の向上**
納付推進センターの活用等により、市税、国保等の収納率が向上
- ② **公の施設の使用料及び手数料に係る受益者負担の適正化**
伝統芸能館、人権平和センター、野畑庭球場の使用料見直し、し尿処理手数料、建築確認検査済証等の交付証明手数料を改定
- ③ **市有施設の有効活用**
『公共施設等総合管理計画』を策定し、施設の複合化・多機能化、戦略的配置を実施

新たな歳入の創出

- ① **有料広告・自動販売機・ネーミングライツ・公有財産（動産）売却等市有資産の活用**
公用車を利用した広告掲示や、職員用 PC へのポップアップ広告を実施
- ② **公有財産（不動産）の貸付等**
民間のノウハウを活用しつつ使用許可や貸付を積極的に実施
- ③ **寄附金収入の拡大**
返礼品の拡充により、件数・金額が大幅に増加（1,344 件、約 1.5 億円）、クラウドファンディングによる寄附受付（野良猫の避妊・去勢手術助成金）を実施し目標額 100 万円を超える寄附、寄附専用ポータルサイトを設置

歳入の源泉の涵養

- ・ **基本政策及び第 4 次豊中市総合計画に基づいた施策の実施**：
一人当たり市税収入、自主財源ともに増加

主な取組み実績

○市税収納率及び滞納繰越額

H25	R1
98.6%	99.2%
3,936,566 千円	1,749,748 千円

○国民健康保険料収納率及び滞納繰越額

H25	R1
90.3%	92.4%
2,475,758 千円	1,632,618 千円

○公の施設の使用料の改定（H30）及び手数料の改定（H28）

○公共施設等総合管理計画策定（H29）

○自動販売機設置使用料

H25	R1
5,011 千円	23,593 千円

○ネーミングライツ料

H25	R1
—	4,532 千円

○物品売払収入

H25	R1
15,811 千円	39,258 千円

○行政財産の目的外使用料

H25	R1
14,344 千円	95,993 千円

○寄附金収入

H25	R1
209 件	1,344 件
33,613 千円	148,144 千円

○クラウドファンディング

野良猫避妊去勢手術助成金について実施
目標額：1,000 千円
寄附額：1,393 千円（119 人）

取組み成果

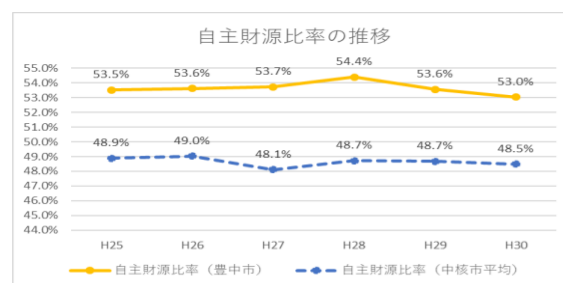
- すべての期間で経常収支比率 95%以下を達成

経常収支比率の状況 (単位：%)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
当初予算	94.9	94.7	94.9	94.8	94.8	94.6	94.9	95.0
決算	91.4	93.2	90.8	94.7	93.5	92.4	-	-

※決算は普通会計、当初予算は一般会計ベースで作成

- 地方税収入、自主財源合計ともに増加基調、自主財源比率についても中核市平均を上回って推移



課題

- 少子高齢化の進展による社会保障関係経費の増大、市有施設の老朽化及び建替え需要に対応するための費用の増大
- 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う歳入の大幅な減少、大規模な支援策の実施
- 推進体制については、業務負担のバランスに配慮しつつ、全庁的な意識啓発が必要

今後の取組み

- 「既存の歳入の確保」、「新たな歳入の創出」、「歳入の源泉の涵養」の枠組みを見直し、今後歳入確保を進めていく中でより効果的な枠組み及び取組テーマについて検討
- 税収分析などを通じた喫緊の課題に重点的に対応
- 歳出面での取組みに加え、歳入確保に係る基本方針の改定を行い、新たな方針に沿った取組みを進める
- 今年度中に「(仮称) 歳入確保戦略」を新たに策定